

題材名 美術館への招待

ねらい

名画（複製画）の鑑賞と鑑賞をより深めるための体験的活動をすることによって、作品の造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取り見方を深めることができるようにする。更に作品などに対する自分の価値意識をもって批評し合うなどして美意識を高め幅広く味わうことができる内容とする。

主な児童の活動 T（担任の先生）	GT（方波見）	時間		
<p>1 これまでの鑑賞の学習や校内に掲示してある作品、教科書で取り上げられている作品などについて想起し、鑑賞活動への関心意欲を高める。 生徒の実態に合わせて</p> <p>2 本時のねらいを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>学芸員になって、名画の世界を案内しよう。 (セルフガイドを活用した、鑑賞活動)</p> </div>	<p>担任と生徒とのやりとりの中から、学級の雰囲気や生徒の関心・意欲などをつかむ。</p>	5		
<p>3 クロード＝モネ「ポール・ド・モアの洞窟」を学級全体で鑑賞し話し合う。</p> <p>鑑賞する立場：作品を分析的に見て、よさやテーマに迫るポイントについて知る。 鑑賞を助ける立場：良さを見つけやすくするためのガイド（問題作り）の作り方について考える。</p>	<p>話し合い活動の中から、鑑賞する視点を見つけていく。</p> <p>ど ん な な ぜ 「テーマ」</p> <ul style="list-style-type: none"> 「対象」・・・何が描かれているのか 「色」・・・特徴的な色づかいは 「形や線」・・・とらえ方の特徴は 「構図」・・・画面構成の工夫は 「筆触」・・・筆づかいは特徴は 	15		
	<p>担任の先生と共に、生徒の活動に対して、共感的な言葉かけや鑑賞のヒントとなるようなポイントを助言する。</p> <p>作品をよく見ることで、作者の心情や意図、創造的な表現の工夫などに気がつくように発問の仕方を工夫させる。</p>	30		
<p>4 複製画を鑑賞し、作品のよさやテーマに迫るセルフガイドを作成する。 各グループで作品1点を鑑賞し、話し合いの中から鑑賞のポイントを見つけ出す。 (個人～グループ) 班の人数分(6～7個)鑑賞のポイントを絞り、問題作りをする。(グループ～個人) 各人から出た問題を1枚のセルフガイドにまとめる。(個人～グループ)</p>		30 20		
<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>ピカソ「鏡の前の若い女」 ロ＝ラン「黒いマフラーをかぶったE.P.・ゲルゴ＝男爵夫人の肖像」 ルノアール「ピアノを弾く二人の少女」 ゴッホ「茅ぶき小屋」</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>シニャック「マルセイユ港」 ルソー「熱帯林・雄牛と戦う虎」 ゴッガン「白い馬」 セザンヌ「池のほとりとして憩う人々」</p> <p style="text-align: center;">予備</p> </td> </tr> </table>			<p>ピカソ「鏡の前の若い女」 ロ＝ラン「黒いマフラーをかぶったE.P.・ゲルゴ＝男爵夫人の肖像」 ルノアール「ピアノを弾く二人の少女」 ゴッホ「茅ぶき小屋」</p>	<p>シニャック「マルセイユ港」 ルソー「熱帯林・雄牛と戦う虎」 ゴッガン「白い馬」 セザンヌ「池のほとりとして憩う人々」</p> <p style="text-align: center;">予備</p>
<p>ピカソ「鏡の前の若い女」 ロ＝ラン「黒いマフラーをかぶったE.P.・ゲルゴ＝男爵夫人の肖像」 ルノアール「ピアノを弾く二人の少女」 ゴッホ「茅ぶき小屋」</p>	<p>シニャック「マルセイユ港」 ルソー「熱帯林・雄牛と戦う虎」 ゴッガン「白い馬」 セザンヌ「池のほとりとして憩う人々」</p> <p style="text-align: center;">予備</p>			
<p>5 各グループが作成したセルフガイドをもとに、すべての作品を鑑賞する。</p> <p>6 本時の学習を振り返り、鑑賞の深まりについて確認するとともに、友人の作品に対する鑑賞に生かしていく。</p>	<p>生徒がが見つけたおもしろさやよさを賞賛するとともにそれを共有し、今後の活動へつながらうような解説も加える。</p> <p>本時の活動を生かせるように助言する。質問等があれば受ける。</p>			

